

製品名: ER81 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab10560

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	ETV1
別名	ETV1; ER81; ETS translocation variant 1; Ets-related protein 81
遺伝子 ID	2115.0
SwissProt ID	P50549
免疫原	抗血清はヒト ER81 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

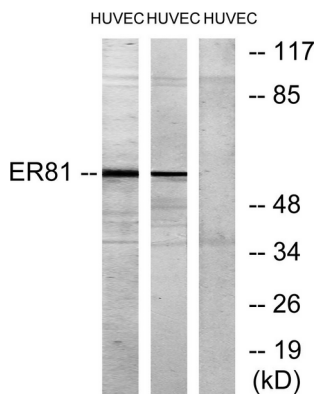
背景

この遺伝子は、ETS (E 26) 転写因子ファミリーのメンバーをコードしています。ETS タンパク質は、細胞の成長、血管新生、遊走、増殖、分化といった生物学的プロセスを調整する多くの標的遺伝子を制御します。すべての ETS タンパク質は、コンセンサス配列 5'-

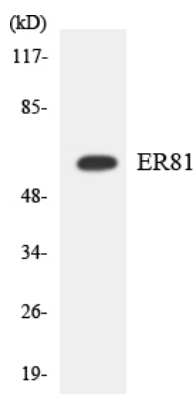
CGGA[AT]-3'を含む DNA 配列に結合する ETS DNA 結合ドメインを有しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、C 末端領域の ETS DNA 結合ドメインに加えて、N 末端領域に保存された短い酸性転写活性化ドメイン (TAD) を有しています。この遺伝子は染色体転座に関与しており、ユーイング肉腫における EWS-ETV1 や前立腺癌における少なくとも 10 の ETV1 パートナー (PMID: 19657377、表 1 参照) を含む複数の融合タンパク質を生み出します。この遺伝子は染色体転座に加え、前立腺がん、メラノーマ、消化管間質腫瘍において過剰発現しています。多発性変性疾患: ETV1 遺伝子に関連する染色体異常は、ユーイング肉腫 [MIM:133450] の原因です。EWS を伴う転座 t(7;22)(p22;q12)。機能:コンセンサス ペンタヌクレオチド 5'-CGGA[AT]-3' を含む DNA 配列に結合する転写活性化因子。PTM:SUMO 化。類似性:ETS ファミリーに属します。類似性:1 つの ETS DNA 結合ドメインを含みます。組織特異性:脳で非常に高く発現し、精巣、肺、心臓で高く、脾臓、小腸、膵臓、結腸で中程度に発現し、肝臓、前立腺、胸腺で弱く、骨格筋、腎臓、卵巣で非常に弱く発現し、胎盤と末梢白血球では発現しません。

研究分野

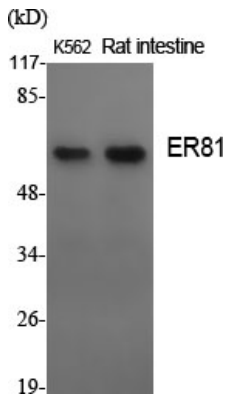
画像データ



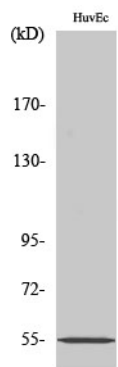
PMA 125 ng/ml 30 μ l 処理した HUVEC 細胞ライセートの ER81 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。



ER81 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ER81 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。



ER81 ポリクローナル抗体を使用した HuvEc 細胞のウエスタン ブロット分析。